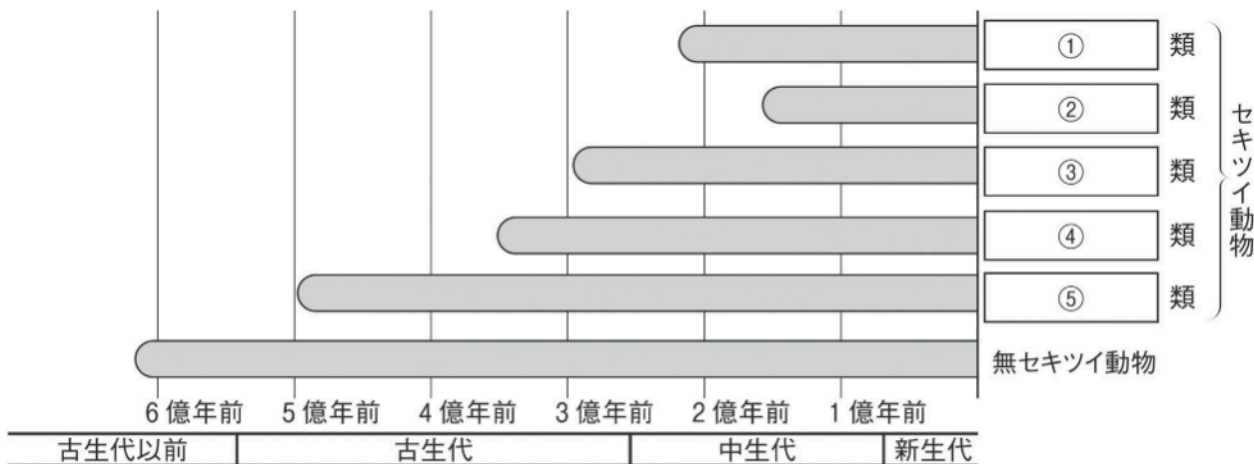


生物の進化

動物の進化・植物の進化・進化の証拠  10分

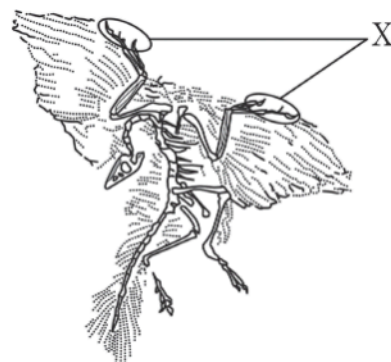
1. 図の にあてはまる語句を入れて、セキツイ動物の化石が発見される地質年代について整理しなさい。



セキツイ動物は、 ⑥ 生活から ⑦ 生活に適するように進化した。

①	[1]	②	[2]
③	[3]	④	[4]
⑤	[5]	⑥	[6]
⑦	[7]		

2. 図は、シソチョウの化石を示したものである。シソチョウの化石は、進化が実際に起きたことを示す証拠として知られている。次の問いに答えなさい。



(1) シソチョウが生きていた年代はどれか。次のア～ウから1つ選びなさい。

- ア 古生代
- イ 中生代
- ウ 新生代

[8]

次ページにつづく ▶▶▶

(2) シソチョウと同じ年代に生息していたと考えられるのはどの生物か。次のア～エから1つ選びなさい。

ア ビカリア イ サンヨウチュウ ウ フズリナ エ アンモナイト

[9]

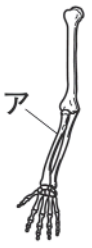
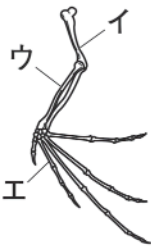
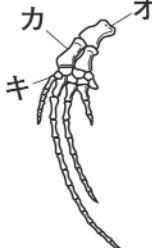
(3) 次の文は、図の化石について述べたものである。①～④にあてはまる言葉をそれぞれ答えなさい。

図の化石は、ハチュウ類と鳥類の両方の特徴をもつ生物の化石である。ハチュウ類の特徴として、Xの部分に [①] があること、口の部分に [②] があること、骨のある長い尾があることなどがあげられる。鳥類の特徴として、からだの表面が [③] でおおわれていること、前あしが [④] になっていることなどがあげられる。

①	[10]	②	[11]
③	[12]	④	[13]

3. 表のように、ヒト、コウモリ、クジラの前あしの骨格やはたらきには、異なる点が見られる。次の問いに答えなさい。

(1) ヒトのうでのアの部分は、コウモリのつばさやクジラのひれでは、どの部分にあたるか。コウモリのイ～エ、クジラのオ～キからそれぞれ選びなさい。

		ヒト	コウモリ	クジラ
前あし	骨格	 (うで)	 (つばさ)	 (ひれ)
	はたらき	道具を使う	空を飛ぶ	水中を泳ぐ

コウモリ	[14]	クジラ	[15]
------	------	-----	------

(2) ホニュウ類の前あしの骨格に、表のようなちがいが生じたのはなぜか。簡単に書きなさい。

	[16]
--	------